

病院図書室ができる臨床研修医へのサービス： JHLAによる図書室支援

石川美奈子、高橋奈津子、東海林雪路、小此木明子、
重川須賀子、森脇麻子、鈴木喜久恵、吉富まち子
日本病院ライブラリー協会

【目的】2004年よりスタートした現在の医師臨床研修制度を受けて、日本病院ライブラリー協会（以下 JHLA）では、病院図書室業務への支援を目的として臨床研修必修化対応支援事業を立ち上げた。臨床研修指定病院に求められる図書室機能の充実を図り、研修医への十分なサービスが提供できる病院図書室のスタンダード作りを目指している。

【活動内容】JHLA会員を対象に行ったアンケートをもとに、活動方針を設定し活動を進めてきた。その経過はJHLAの研修会、機関誌『ほすびたる らいぶらりあん』、HPを通して会員へ報告、提案している。具体的には初期研修医向け参考図書リスト、図書室担当者として知っておくべきデータベース（医中誌 web や UpToDate 等）の基礎知識・概略を作成してきた。また研修医への最初の直接指導の場のオリエンテーションにおける企画から開催までの流れをフローチャートで示し、更にそのままオリエンテーションで利用できる図書室紹介のためのスライドのテンプレートを作成した。これらを利用することで、オリエンテーションでは図書室の紹介・案内に留まらず、いかに研修医への図書室利用を促すかに重点を置きながら企画することができるようになることを狙っている。そして、これらはJHLA学術的支援サポートのためのツールとして、ホームページ上で公開・提供している。

【まとめ】ここまでの活動の成果、内容、有用性について評価と今後の活動に反映するためアンケート調査を予定している。その結果を踏まえ、より現場の声を反映した病院図書室のスタンダードを作り、どの病院図書室でも充実した研修医へのサービスを提供できるようにしていきたいと考えている。